

令和元年度 第2回 三重県議会「議員勉強会」開催要領

目 的

「Society5.0」で実現する「超スマート社会」は、「必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細かに対応でき、あらゆる人々が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、生き生きと快適に暮らすことができる社会」といわれている。

三重県においても、「Society5.0」を「みえ県民力ビジョン・次期行動計画」策定に当たっての「時代潮流として捉えておくべき新しい概念」とし、その考え方を県の施策を展開する視点に据えることとしている。

こうしたことから、「Society5.0」について理解を深めるための「議員勉強会」を開催し、今後の県議会での議論、「みえ県民力ビジョン・次期行動計画」の調査等の参考とする。

Society5.0：「狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、新たな社会」を指すもので、「第5期科学技術基本計画」（平成28年1月22日閣議決定）において初めて提唱された。

日時・場所

令和元年7月12日（金） 13：00～14：30

三重県議会議事堂3階 全員協議会室

講師

講師：山本 和男（やまもと かずお）氏

（内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付

上席政策調査員（社会システム基盤担当）・工学博士）

演題

演題：「Society5.0」と自治体について

【講師紹介】

山本 和男（やまもと かずお）氏

2005年東京工業大学大学院理工学研究科博士課程を修了し、放射線医学総合研究所任期付研究員として、粒子線がん治療装置の研究開発に従事。その後、三菱電機株式会社先端技術総合研究所へ転職し、加速器、超電導、電磁ノイズ、サーボモータ等の開発および管理職を経て内閣府 政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付に出向。現在、Society5.0実現に向けてスマートシティ構築に寄与する。